

本部事務局：〒036-8231 弘前市稔町13-1 弘前学院大学 英米文学
佐藤研究室 Tel.0172-34-5211 内線 216 satoh@hirogaku-u.ac.jp

第23回年度全国大会を振り返って

南東北支部長 亀田 政則

福島県立医科大学で開催されました本年度の学術大会を無事終了する事ができました。会員のみなさまには、ご協力に感謝申し上げます。

事務局は二人きりでしたので、たいへん心細く大会の準備を始めましたが、看護学部教員の援助を受けまして、形ばかりは整えることができました。とくに小平廣子先生（看護学部老人看護学）の存在なくしては、なにもなしえませんでした。紙面を借りまして、もう一度御礼申し上げます。

大会への案内は、海外会員を含めて480通送付いたしました。返答をいただきましたのはそのうち50通ほどでした。この現状を見まして、正直なところ、唖然としました。そして「不在のため、配達できませんでした」ということで送り返されてきました案内状の束を見まして、会員の意識改革の必要性を痛感したしいです。

ともあれ、福島県立医科大学を拠点としました南東北支部の活動は、これをもって幕を閉じることになりました。これから東北学院大学を拠点に活動いたします。鈴木瑠璃子支部長を中心に学問的にも切磋琢磨される支部となりましょう。全国の会員のみなさま、なにとぞよろしくお願いいたします。

第23回大会総会報告

本部事務局 佐藤 幸正

I 報告

1. (1) 『比較文化研究』発行について
2000年度は、49、50、51、52号を発行しました。
- (2) 主な送付先：国立国会図書館、Harvard-Yenching Library、郵政省郵務局、論説資料保存会など。
2. 第24回大会について
開催校 高知大学
シンポジュームのテーマ 「比較文化：過去、現在そして未来」
3. 支部および研究部会報告
省略（必要な方は、各支部および研究会にお問い合わせください）

II 議題

1. 役員改選について：下記の通り決定しました。
会長 芳賀 馨
副会長 西村清巳、石黒博昭（兼関西支部長）、太田敬雄（兼関東支部長）
理事 栗原 靖（北東北支部長）、鈴木瑠璃子（南東北支部長）、奥村訓代（中国・四国

支部長)、梅田和郎(九州支部長)、鹿島英一(アジア広域支部長)、高橋八重子、齋藤和子、小林俊哉、山内信幸、南川啓一、市川鄧康、飯島武久、早川正信、中澤紀美子、栗原 優、亀田政則、成沢義雄、南井正廣、畠中康男、阿部晃直、佐藤 静

2. 会費値上げについて

2002年度から一般会員、新入会員とも年額5,000円になりました。

3. 「日本語教育研究部会」の名称変更について

名称を「日本語日本文化研究部会」に変更することで了承されました。

4. ニュースレター『比較文化会報』について

編集者楠純一会員の死去に伴い、その後任を太田敬雄、中澤紀美子、成沢義雄各会員で結めることになりました。なお、ニュースレターは今後2回発行の予定です。

5. 第25回大会について

開催校 京都橘女子大学

シンポジュームのテーマ 未定

6. 会計報告

別紙にて報告がなされ承認されました。

7. 日本比較文化学会・韓国日本文化学会交流について

交流協定書に基づき、両学会が交流することが承認されました。

『比較文化研究』発送について

太田 敬雄

1年間『比較文化研究』の発送をNPO法人国際比較文化研究所が実験的に引受けましたが、今年の大会で継続を要請されました。学会費値上げの主な理由は発送経費です。研究所の本来の活動である「他文化理解の研究と啓蒙」と共に御理解と御協力を願います。

第24回大会案内

本部事務局 佐藤 幸正

日時 2002年6月8日(土)

開催校 高知大学人文学部(朝倉キャンパス)

問合先 〒780-8520高知市曙町2-5-1 高知大学人文学部 奥村研究室

日本比較文化学会中国四国支部 支部長 奥村訓代

Tel & Fax : 088-844-8205 / E-mail : koku@cc.kochi-u.ac.jp

研究発表希望者へ

1. レジューメをワープロなどで、B5版横書き1枚にまとめて下さい。その際、左右の余白を2センチほど残して下さい。
2. 2000年1月31日必着で上記奥村訓代宛で、郵便書留で送って下さい。

シンポジューム講師の推薦

第24回大会のシンポジュームのテーマは「比較文化:過去、現在そして未来」です。各支部は12月31日までに講師を推薦して下さい。推薦された講師は上記研究発表1および2の要領で、レジューメを奥村先生までお送り下さい。

日本比較文化学会は韓国日本文化学会との提携を結び、交流を初めております。この度の大会には、韓国日本文化学会の片茂鎮（Pyon Mujin）会長ほか韓瑞大学の金先生に参加頂くことが出来、金先生には研究発表をしていただきました。

これからの韓国日本文化学会との交流については次のような合意をしております。JACC 会員の韓国日本文化学会での積極的な発表ならびに『日本文化学報』への投稿（JACC の推薦が必要であり、また分野が日本語・日本文学・日本文化とその教育に限定されます）。

(1) JACC の学会誌『比較文化研究』に、韓国日本文化学会の国内会員の論文を掲載することができる。

(2) 韓国日本文化学会で口頭発表した論文の中から学会が推薦する。なお、投稿者の推薦にあたっては、学会の内部規定に従い該当者を選定する。

(3) 推薦論文の審査と掲載料は JACC の規定に従うこととする。

(4) JACC は、全国大会(年 1 回)で発表する韓国日本文化学会からの推薦会員 4 名に対して 1 年間の会費を免除する。

(5) 韓国日本文化学会は、全国大会(年 2 回)で発表する JACC からの推薦会員 4 名に対して 1 年間の会費を免除する。

(6) 韓国日本文化学会は、学会誌『日本文化学報』に JACC から推薦された年 1 編の論文に対して掲載することができる。ただし、推薦論文の審査は当学会の規定に従うこととし、掲載料は免除する。

日本比較文化学会日本語・日本文化研究部会（特集号発刊の件）

奥村 訓代

このたび理事会にて承認されましたので、以下の要領で日本語・日本文化研究特集号の原稿を広く募集いたします。会員の皆さんの投稿を期待しております。

原稿締切 2001年10月末日

発行予定 2002年3月（投稿規定などは、「比較研究」参照） 但し、「日本語・日本文化研究特集号」につき、関係論文のみとする。また、原稿は日本語のみ、A4用紙一頁42字×33行で15枚以内とする。

（図、注、参考文献等を含む；原稿用紙の場合は、約20,000字以内）

プリント・アウトされた完成原稿と共にフロッピーにて送付願います。

原稿送付先 780-8520 高知市曙町2-5-1 高知大学人文学部 奥村研究室

Tel. & Fax : 088-844-8205 / E-mail : koku@cc.kochi-u.ac.jp

本部事務局だより

1. 入会希望者へ

本学会に入会を希望する方は、本部事務局へ「入会申込書」を提出して下さい。折り返し必要書類をお送り致します。入会申込書は本部事務局に備えてあります。

2. 論文掲載希望者へ

学会誌『比較文化研究』は年に4回発行しております。掲載をご希望の方は下記へお問い合わせ下さい。

(3月末日締切)

〒854-0081 諫早市栄田町1057

長崎ウェスレヤン短期大学 南川研究室 日本比較文化学会九州支部

電話 0957-26-1234

(5月末日締切)

〒370-0068 高崎市昭和町53

新島学園女子短期大学 前田研究室 日本比較文化学会関東支部

電話 0273-26-1155

(9月末日締切)

〒981-3105 仙台市泉区天神沢2-1-1

東北学院大学教養学部 鈴木瑠璃子研究室 日本比較文化学会南東北支部

電話 022-773-3337 / E-mail: rsuzuki@izcc.tohoku-gakuin.ac.jp

(12月末日締切、欧文原稿のみ)

〒京都府京田辺市多々羅都谷1-3

同志社大学言語文化教育研究センター 山内研究室 日本比較文化学会関西支部

電話 0774-65-7070

3. 近況報告、支部活動報告、研究部会報告、新刊紹介などを『比較文化会報』に投稿希望の方は次の要領でご応募下さい。

(1) 近況報告(130字以内)

(2) 新刊書、編註書の紹介(130字以内)

(3) エッセイ投稿(500字以内)

(4) 支部報告、研究部会報告(1000字以内)

投稿締切日 毎年6月30日(第1回締切日)および12月25日(第2回締切日)

投稿先 日本比較文化学会本部事務局 〒036-8577 弘前市穂町13-1

弘前学院大学文学部 佐藤研究室 日本比較文化学会

電話 0172-34-5211(代) / E-mail: satoh@hirogaku-u.ac.jp

編集後記

この度会報が年2回発行されることになり、大会報告号の編集をお引き受けすることになりました。今まで学会に貢献しなかったお詫びに、多少なりともお役に立てればと思っています。

今回の作業を通じて、今まで楠先生が担って下さっていた役割が学会を支える上でどれほど貴重なものであったか、改めて知ることが出来ました。また自分自身が、いかにいい加減にしか会報を読んでいなかったかということも痛感しました。今頃先生は、あちらの世界でカラカラと笑っておられることでしょうか。並んで歩くと、私の頭より何十センチも高いところから先生の声が降ってきました。今も見上げれば、あのお顔が私の頭の上に見えるような気がします。先生、どうもありがとうございました。

これからは天国の楠先生、そして地上にあっては会員の皆さまに支えられ、ご指導を頂いて、よりよい会報にしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。(中澤紀美子)

本部事務局

〒036-8231 弘前市穂町13-1

弘前学院大学英米文学 佐藤研究室

Tel. 0172-34-5211 内線 216

発行者 芳賀 馨

編集者 中澤 紀美子